全国公立学校教頭会通信　NO. １６

きずな

発 行　令和７年 12 月吉日
全国公立学校教頭会研究部
電話：　03-3436-4868
Mail：　zenkokyo@kyotokai.jp
HP：　https://www.kyotokai.jp

東海･北陸ブロック研究大会富山大会報告

研究部　荒木　達彦

1　大会名称　　第 53 回東海・北陸公立学校教頭会研究大会　富山大会
2　開催時期　　令和７年 10 月 30 日（木）、31 日（金）
3　開催場所　　富山県富山市
　　全体会会場　富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール 大ホール）
　　分科会会場　ボルファートとやま　とやま自遊館　ホテルグランテラス富山
　　パレブラン高志会館　県農協会館

4　日程
　１日目　　開会行事　13:30～14:20
　　記念講演　14:30～16:00
　２日目　　分 科 会　9:00～12:00
5　大会の概要
　(1)　大会主題　「未来を切り拓く力を育む　魅力ある学校づくり」
　(2)　主　　催　東海・北陸地区公立学校教頭会　富山県公立小中学校教頭会
　(3)　後　　援　富山県教育委員会　富山市教育委員会　富山県小学校長会
　　富山県中学校長会　全国公立学校教頭会
　(4)　開会行事　①開会の言葉　②国歌斉唱　③会長挨拶　④来賓挨拶　⑤来賓紹介
　　⑥祝電披露　⑦基調提案（富山大会研究部長）　⑧閉会の言葉
　(5)　記念講演　演題　「地球の未来と生物多様性～持続的発展を目指して～」
　　講師　国立環境研究所　生物多様性領域生態リスク評価・対策研究室
　　特命研究員　五箇　公一　氏
　(6)　分 科 会　①教育課程に関する課題　②子どもの発達に関する課題
　　③教育環境整備に関する課題　④組織・運営に関する課題
　　⑤教職員の専門性に関する課題

6　大会に参加しての感想

分科会の様子

本大会は東海・北陸地区公立学校教頭会、富山県公立小中学校教頭会の主催により、東海・北陸地区７県から約 1200 名の副校長・教頭が富山県富山市に参集して開催された。

１日目の記念講演は、国立環境研究所・特命研究員の五箇公一氏が「地球の未来と生物多様性～持続的発展を目指して～」と題して講演された。生物多様性の保全は単なる自然愛護ではなく豊かな人間社会の存続を根本から支えるためのものである、気候変動や感染症の拡大といった問題は生物多様性と密接に関わっている、人間が生き残るためには自然

と適度な距離感を取り戻す必要がある、といった知見を聴くことができた。研究結果により得られた膨大な情報に基づいた話は興味深く、大変示唆に富んだ内容であった。

２日目の分科会は、６つの分科会で合計 12 本の提言発表があった。提言を受け、協議の柱に基づいてグループ協議が行われ、３Ｃの視点に立った熱心な協議や日々の業務についての交流が進められた。抽出グループによる発表の後、助言をいただき、参加者はそれぞれの課題に対する質の高い学びを確認することができた。

本大会を通して、参加者の熱心な協議や交流が図られ、各地区の教育を担う副校長・教頭の各課題に対する見識を深めることができた。富山県は多くの地域で能登半島地震の被害を受けており、研究発表の中でも教育活動への地震の影響について触れられている場面があった。そんな大変な中であったにも関わらず、当日はきめ細やかな運営がなされ、大会に向けて入念な準備をされてきたことが随所に感じられた。大会の成功にご尽力いただいた富山県公立小中学校教頭会の皆様には敬意を表するところであり、ニューヨークタイムズ紙の「2025 年に行くべき 52 か所」に選ばれた富山市で開催された本大会は、参加者の心に残る大会となった。